

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	理学療法学科1部	夜・通信	90	6	
	理学療法学科2部	夜・通信	71	7	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

校内閲覧、新入生配布資料

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

名簿公表希望者に事務局にて閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人珪山会 理事長	3 年	学園運営の円滑化
非常勤	棚橋医院 院長	3 年	学園運営の円滑化
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 例年1月に次年度の授業担当者を決定する。カリキュラム・ポリシーをもとに、すべての授業担当者が現行の授業計画書(シラバス)を確認し、次年度に向けた授業計画を考え、修正する。 全授業科目の授業計画を取りまとめ、開講年度の 4 月に配布。尚、授業計画書(シラバス)は共通のフォーマットを利用しており、記載内容は以下の通りである。 科目名、担当者教員名、科目区分、学年、単位数(時間数)、履修時期、授業概要、学生が達成すべき目標、授業内容(回数)、授業形態(学習方法)、授業形態(学習資源)、授業準備等の内容、教科書、参考書、評価方法・評価の割合。	
授業計画書の公表方法	校内閲覧(実施済)、新入生配布(実施済)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60 点以上の得点を合格とする。60 点未満の場合は、再試験を実施する。再試験が 60 点以上であれば、合格として単位取得を認め、たとえ再試験で 60 点以上の点であっても、この科目の成績は 60 点とする。 また、再試験 60 点未満の場合は、再々試験を実施する。再々試験が 60 点以上であれば、合格として単位取得を認め、たとえ再々試験で 60 点以上の点であっても、この科目の成績は 60 点とする。 実習科目では出席状況、実習の成果、実技試験やレポート課題の成果で評価するものもある。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目の成績はすべて 100 点満点の点数で示される。 学生が履修した全科目の平均点と、その平均点の学科内順位を成績評価の客観的指標として用いる。 個々の学生には、履修した全科目の点数とその平均点、全科目平均点の学科内順位を成績表として配布している。ご父兄にも送付している。 前期末(8月)と後期末(3月)に全学生の成績を把握・検討している。成績不良者に対して、本人と保護者に文書で通知し、個別指導を行っている。後期末(3月)には進級判定会議を行い本人と保護者に文書にて通知し、面談等も行っている。 (1) A 80 点～100 点 (2) B 70 点～79 点 (3) C 60 点～69 点 (4) D 59 点以下 (不合格) (5) N 単位認定科目	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	新入生配布、校内閲覧
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。 認定の方法:卒業認定会議をへて学校長が決定。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	新入生配布、校内閲覧

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	中部リハビリテーション専門学校
設置者名	学校法人珪山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人本部事務局にて閲覧
収支計算書又は損益計算書	学校法人本部事務局にて閲覧
財産目録	学校法人本部事務局にて閲覧
事業報告書	学校法人本部事務局にて閲覧
監事による監査報告（書）	学校法人本部事務局にて閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療		専門	理学療法学科 一部				
医療		専門	理学療法学科 二部				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	117 単位時間／単位	単位時間 81/単位	単位時間 5/単位	単位時間 22/単位	単位時間 2/単位	単位時間 7/単位
			117 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
120 人		100 人	0 人	6 人	55 人		61 人

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	117 単位時間／単位	単位時間 80/単位	単位時間 5/単位	単位時間 22/単位	単位時間 2/単位	単位時間 7/単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		41 人	0 人	5 人	47 人	52 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）講義方法は専門講師が臨床経験なども踏まえ座学で行う。また、実技では、臨床経験等も踏まえ評価・治療技術を指導している。年間カリキュラムは、学生に新学期に配布している。
成績評価の基準・方法
（概要）授業計画に記載された成績評価の方法により評価を行い、単位認定を行っている。出席日数の三分の二以上出席、60点以上の得点を合格とする。再試験、再々試験も実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要）卒業・進級の認定方針は成績評価をふまえ、授業科目、単位の取得及び在籍期間6年以内であること。認定の方法は進級判定会議を経て学校長が決定。
学修支援等
（概要）成績不良者等は面談を行い、必要に応じて補習等を行う。また、父兄とも密に連絡を取り、学生の学校での生活を共有するようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
50人 (100%)	人 (%)	50人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等）理学療法士、病院、診療所、介護老人保健施設等			
（就職指導内容）就職支援、履歴書等提出物の確認			
（主な学修成果（資格・検定等））理学療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143人	2人	1%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）相談等ができる環境を作り二者面談、三者面談を行う。学習困難者のために補習等を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
一部	300,000 円	700,000 円	600,000 円	
二部	300,000 円	550,000 円	450,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価結果閲覧希望者に事務局にて閲覧		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構による学校評価を 2021 年度に行っている。今年度、教育評価対象校となっていたが、来年度学園内の学科全てが中部リハビリテーション専門学校となるため、来年度（2026 年）に学校教育評価を行う予定。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人リハビリテーション教育評価機構	3 年	
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 評価結果閲覧希望者に事務局にて閲覧		
第三者による学校評価（任意記載事項） 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://chureha.kzan.jp/
--